

## 結婚しましょう (1951)

LET'S MAKE IT LEGAL

メディア 映画

ジャンル コメディ ロマン스

製作国 アメリカ

色彩 B&amp;W

時間 77分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

## 【解説】

モンロー出演（端役）のためビデオも出ている、ロマンチック・コメディの小品。51年の作品だが、「或る夜の出来事」のコケティッシュなコルベールもここでは、赤ん坊とはいえ孫のある役。彼女ミリアムは一年前に、ホテル支配人の夫ヒューの永年のギャンブル狂いに愛想をつかして、別居生活に入り、夫を追い出して自宅に一人娘の家族と暮らしている。婿のジェリー（ワグナー）は夫の部下。自立できない妻バーバラに腹を立て、義母の再婚を望んでいる。母に一切の家事を任すバーバラは母と父との復縁を願っている。ヒューは家に残したバラが気懸かりで度々、様子を見にきては庭師を泣かせる。そこへかつてミリアムと争ったビクターが実業界での成功を引っ提げて、混乱のこの一家の前に現われ、彼女にプロポーズしたから、さあ大変。夫は口では強がるが女房恋しさにちょっかいばかり。婿はビクターと義母の仲を進展させたい素振り。みんなの思惑は食い違い、肝心のミリアムの気持ちもあちこち揺れるが……。他愛のないオチも含め、いかにもR・セイル作品らしくお気楽な出来で、東芝日曜劇場みたいなスケールが不思議と心地よい。ダイヤモンド＝ハーバートの脚本がうまく書けているからだろう。モンローはプールの場面でヒューにからむ、台詞5つか6つに終わる“水着美人”の秘書役であった。

## 【クレジット】

監督	リチャード・セイル	Richard Sale
製作	ロバート・バスラー	Robert Bassler
原案	モーティマー・ブラウズ	Mortimer Braus
脚本	I・A・L・ダイヤモンド	I.A.L. Diamond
	F・ヒュー・ハーバート	F. Hugh Herbert
撮影	ルシアン・バラード	Lucien Ballard
音楽監督	ライオネル・ニューマン	Lionel Newman
音楽	シрил・J・モックリッジ	Cyril J. Mockridge
出演	マリリン・モンロー	Marilyn Monroe
	クローデット・コルベール	Claudette Colbert
	マクドナルド・ケリー	MacDonald Carey
	ロバート・ワグナー	Robert Wagner
	ザカリー・スコット	Zachary Scott
	バーバラ・ベイツ	Barbara Bates
	フランク・キャディ	Frank Cady
	ジム・ヘイワード	